

基本政策6
「地域の個性ときずなが輝く阿南」の創生
～持続可能で進化するまちに～

まちづくり分野	総合戦略 分野
6-1 コミュニティ …………… 152	まち
6-2 市民参画 …………… 155	
6-3 広域連携 …………… 157	
6-4 行財政運営…………… 159	
6-5 シティプロモーション …………… 164	



現状と課題

- 少子高齢化や人口減少を始め、南海トラフ巨大地震や地球温暖化に伴う局地的な豪雨等の災害に対する不安などといった市内全域に共通する課題がある一方で、バス路線の廃止に伴う高齢者等の移動・買い物手段の不足や、宅地開発が進む地区における新旧住民間の交流の希薄化など、地区の実情を背景とした固有の課題があります。
- 行政サービスを提供している施設の老朽化に伴い、必要な行政機能の再考や関係する周辺施設との集約化・複合化、エリア全体の施設再編の検討を行い、事務の効率化と市民満足度の向上を図る必要があります。
- 少子高齢化、核家族化の進行とともに、価値観の多様化が進む中で、地域における市民の共同意識や連帯感が薄れつつあることから、コミュニティ活動の活発化を促進する必要があります。
- 辺地*及び離島地域は、都市部への人口流出や少子高齢化が急速に進行しており、地域コミュニティを維持することが課題となっています。

基本的な方向性

- 市民自身が地域のニーズに応じて運用できる「わがまち予算」の創設により、地区ごとに住民の意見が直接反映し、地域住民自身の手による各地域の実情に応じたきめ細かな取組の展開を可能とし、住民自治の理念を具体化するとともに、各地区における活動拠点の整備を進めていきます。
- 那賀川町エリアにおいては、中心となる複合型交流拠点を新施設整備のビジョンとし、那賀川町エリア全体の価値向上を図ります。
- 市民が相互に交流し、連帯感を強めながら、主体的にまちづくりに参画できるよう、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備に対して助成を行い、市民のコミュニティ活動の活発化を促進します。
- 辺地*及び離島地域においては、生活基盤の整備の促進に加え、特色ある産業振興や地域の魅力を高めるコミュニティづくりに努めます。
- 地域おこし協力隊の受入れを継続し、受入団体や地域住民と連携して、地域課題の解決と地域コミュニティの活性化を推進するとともに、隊員のサポート体制を強化して市内定着率の向上に努めます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 地域づくりを自ら考え自ら行う機運の醸成

■主要な施策

- ▶ 14 地区の個性を生かしたまちづくり
 - ☞ 市内 14 地区を単位とし、地域住民が主体的にまちづくりに取り組む仕組みを構築する。
- ▶ 那賀川地区複合施設の整備
 - ☞ 老朽化した那賀川社会福祉会館、那賀川支所、那賀川公民館の施設再編を行う。
- ▶ コミュニティ活動の促進
 - ☞ 地域のコミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備を推進する。
- ▶ 地域づくりに対応する助成
- ▶ 離島地域振興策の推進
 - ☞ 離島地域振興策を講じるとともに、利用者が減少傾向にある離島航路の維持確保を図る。
- ▶ 辺地*対策事業の推進
 - ☞ 辺地*における公共的施設の整備を推進する。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

「わがまち予算」活用団体数（年間）

実績（2019）

—



現状（2023）

—



目標（2028）

14 件

指標の説明

「わがまち予算」を活用する地域の活動主体の数
 「わがまち予算」を活用する団体（地域の活動拠点）を市内 14 地区に展開することが個性あるまちづくりにつながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

阿南市全域において、「わがまち予算」の活用ができることを目指し、目標値を設定
 この目標達成により、市内全ての地区において地域住民が主体的にまちづくりに取り組む体制の構築に寄与

重点テーマ2

地域おこし協力隊退任後の市内定着の促進

■主要な施策

▶地域おこし協力隊の活動・定住支援

☞ 日々の活動支援や定住に向けたサポート体制が構築された受入団体に地域おこし協力隊を配置し、地域の活性化及び退任後の定住・定着を推進する。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

地域おこし協力隊退任後の市内定着者数（累計）

実績（2019）

4人



現状（2023）

7人



目標（2028）

12人

指標の説明

任期を終了した地域おこし協力隊員のうち、市内に定着した隊員の累計退任後の市内定着を最重要視していることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

退任後、半数程度の隊員が市内定着することを目指し、目標値を設定
この目標達成により、地域コミュニティの維持・強化に寄与

関連する個別計画

- 阿南市公共施設等総合管理計画
- 阿南市立地適正化計画
- 徳島県離島振興計画
- 辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画

6-2

市民参画

ビジョン

ふるさとの未来を共に創る市民協働のまちづくり



現状と課題

- 持続可能なまちづくりを進めていくには、市民一人一人が地域の課題を主体的に捉え、将来のまちづくりを市民と行政が共に考え行動していくことが必要です。
- こども基本法においては、こども施策の基本理念として「全てのこどもが意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること」を掲げており、こどもの健全育成や民主主義の担い手育成の観点からもこどもの意見表明・社会参加の推進が求められています。

基本的な方向性

- 市民が地域づくりに携わる機会を創出し、意見反映と社会参加が両輪として進められる体制を構築します。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 地域共生社会の実現に向けた市民協働のまちづくり

■主要な施策

- ▶ 「市民の声」を取り入れた市政運営の推進
 - ☞ 市民が市長へ提言等を行いやすい環境を整備し、市民の「想い」を受け止めた市政運営を推進する。
- ▶ こども・若者による地域づくりの体制整備
 - ☞ こどもや若者自らが地域づくりに参加できる体制を整備する。
- ▶ こどもが意見を表明する場（こども議会）の構築
 - ☞ 年齢や発達の程度に応じて、こどもが意見を表明する仕組みを構築する。
- ▶ 地域の支え合い体制づくりの推進
 - ☞ 分野・属性を問わない全ての人が住み慣れた地域で支え合いながら暮らし続けられるよう、住民の活動を始めとした多様な主体による地域づくりを推進する。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名 こども・若者による地域づくり参画人数

実績（2019） — 現状（2023） — 目標（2028） 30人

▶▶▶ ▶▶▶

指標の説明

こども・若者地域づくりプラットフォームへの登録人数
こども・若者による地域づくりの取組を広げ、こども・若者の社会参加を推進することを目指し、この目標を設定

設定の考え方/得られる効果

主体的に地域づくりに取り組むこども・若者を増やすことを目指し、目標値を設定
この目標達成により、こども・若者が参加する住みよい地域づくりに寄与

関連する個別計画

- 阿南市地域福祉計画
- 阿南市高齢者福祉計画・阿南市介護保険事業計画
- 阿南市教育振興基本計画
- 阿南市子ども・子育て支援事業計画

6-3

広域連携

ビジョン

近隣自治体との連携による活力あふれるまちづくり



現状と課題

- 県南1市4町（阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町）において2015（平成27）年に約10万2千人であった圏域人口は、2023（令和5）年には約9万人となり、8年間で約1万2千人減少しており、人口減少に歯止めがかかっていない状況です。
- 現在、具体的な連携の枠組としては、本市を中心市とした県南1市4町による「南阿波定住自立圏*」を形成し、公共施設の相互利用や消費生活等の相談業務を行っているほか、観光振興などの取組を展開しており、引き続き広域的な視点に立った連携事業の継続が求められています。

基本的な方向性

- 県南の中心都市として、近隣自治体との連携を強化し、効果的・効率的な政策展開を始め、圏域全体の持続的発展や行政課題の解決につながる広域連携の充実に努めます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 定住自立圏構想*の推進による南阿波定住自立圏域*の活性化

■主要な施策

▶定住自立圏共生ビジョン取組事業の推進

☞公共施設の相互利用、観光振興、医師確保対策等を実施し、圏域の活性化を目指す。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

県南1市4町の圏域人口（各年4月1日現在の推計人口）

実績（2019）

96,890人



現状（2023）

90,871人



目標（2028）

87,000人

指標の説明

南阿波定住自立圏域*の4月1日現在の推計人口

圏域全体として必要な生活機能等を確保し、定住の受け皿となる目安となることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

人口減少を最小限に抑えることを目指し、目標値を設定

この目標達成により、圏域全体の持続的発展に寄与

関連する個別計画

●南阿波定住自立圏共生ビジョン

6-4

行財政運営

ビジョン

将来にわたり持続可能な行財政運営を進めるまちづくり



現状と課題

- 限りある経営資源の最適配分と多様な主体との連携強化など「不断の行財政改革」を通じて、市民に対する持続可能な行政サービスの提供に努めるとともに、新たな価値を創造する自治体へ進化することが必要です。
- 公共施設保有量について、住民サービスの水準と効果を維持しながら最適化を図っていく必要があります。
- 社会全体のデジタル化が急速に進む中で、行政運営においてもデジタル技術を駆使し、行政サービスの改善や業務効率化を図る DX（デジタル・トランスフォーメーション）*の更なる推進が求められています。
- 今後、少子高齢化によって生産年齢人口が減少し、市税収入が減少することが予測される中で、歳入を安定的に確保し、歳出とのバランスが取れた財政構造を実現することが重要となります。

基本的な方向性

- 職員数の最適化や民間活力の導入といった様々な取組によって、財政の効率化を図ります。
- 公共施設の集約化・統廃合等、将来を見据えた具体的な公共施設マネジメントを実践し、建物系公共施設については、人口減少や財政状況を考慮して、施設規模の適正化を図るため施設保有量（延床面積）の縮減を目標とし、インフラ資産*は、必要に応じて施設のあり方を検討しコスト縮減に努めます。
- 「阿南市 DX*推進指針」を踏まえ、市民ニーズに合った行政サービスの向上や更なる事務の効率化に努めます。また、誰一人取り残すことのないデジタル社会の形成を目指し、デジタル技術を扱うことができる人とできない人との間に生じる格差（デジタルデバイド*）の是正に取り組みます。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 組織・人員体制の最適化

■主要な施策

- ▶ 効率的な組織体制への転換
 - ☞ スマートで簡素かつ機動的な組織体制を構築し、経営資源の有効活用とスピード感のある施策の推進を図る。
- ▶ 人材の確保・育成
- ▶ 職員の働き方改革の推進

■KPI(重要業績評価指標)

指標名 人口減少時代を見据えた職員数（各年4月1日現在）

実績（2019）	▶▶▶	現状（2023）	▶▶▶	目標（2028）
862人		820人		800人未満

指標の説明

正規職員数
既存の事務事業の見直しや、DX*による業務効率化等の取組を通じ、職員数の最適化を図るため、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

今後の本市の人口推移を見据え、人員体制の最適化を図るため、目標値を設定
この目標達成により、人員体制の最適化や人件費の見直しに寄与

指標名 会議体の統合数（累計）

実績（2019）	▶▶▶	現状（2023）	▶▶▶	目標（2028）
—		—		4件以上

指標の説明

各担当課が所管する庁内会議や、外部有識者会議の統合数（累計）
類似する会議等を統合することにより、業務の効率化につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

類似の目的を持つ庁内会議や外部有識者会議のあり方を再検討し、統合を進めることを目指し、目標値を設定
この目標達成により、意思決定の効率化と業務負担の軽減に寄与

重点テーマ2 財政の健全化

■主要な施策

▶ 歳入の確保

☞ 収入未済金の徴収強化や国・民間の補助金、助成金の積極的活用、ふるさと納税の推進による寄附金収入の増加等により、安定した自主財源の確保に努める。

▶ 歳出の見直し

☞ 人件費や市単独補助金の見直し、保険給付の適正化、介護予防施策の強化等により、歳出の削減に取り組む。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

実質公債費比率

実績（2019）

5.1%



現状（2023）

6.1%



目標（2028）

10%未満

指標の説明

財政規模（収入）に対する借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合

市債管理の健全性を確保し、将来にわたって持続可能な行財政運営を実現することを目標に、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

計画期間を通して10%未満を実現することにより、将来負担の抑制につながることから、目標値を設定
この目標の達成により、健全で持続可能な行財政運営に寄与

指標名

当初予算編成における財政調整基金の取崩し額

実績（2019）

1,789,500 千円



現状（2023）

1,177,800 千円



目標（2028）

10 億円未満

指標の説明

基金への依存度を測る指標

当初予算における歳入歳出のバランスを最もよく示す指標であることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

基金依存の財政構造から脱却し、歳入歳出のバランスが取れた財政構造の実現に向け、目標値を設定
この目標を達成することにより、健全で持続可能な行財政運営に寄与

重点テーマ3 公共施設マネジメント

■主要な施策

- ▶ 未利用不動産の有効活用
 - ☞ 売却や地域のニーズに応じた貸付の促進により、歳入の確保や資産の有効活用を図る。
- ▶ 公共施設の再編及び効率的な管理
- ▶ 公共施設の新設及び整備

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

公共施設の総延床面積

実績（2019）

433,540 m²



現状（2023）

428,584 m²



目標（2028）

420,584 m²

指標の説明

本市が保有する公共施設の総延床面積

人口減少率以上に公共施設保有量を縮減することを公共施設等総合管理計画において目標としていることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

施設マネジメントを実践し、1.5%以上縮減させていくことを目指し、目標値を設定

この目標達成により、公共施設保有量が最適化され、維持管理費・更新費用の縮減に寄与

重点テーマ4 スマート自治体の展開

■主要な施策

- ▶ 行政サービスのデジタル化
 - ☞ マイナンバーカードの利用促進により、各種手続の簡素化・効率化を図り、市民の利便性向上と行政コストの削減を図る。
- ▶ AI 技術の活用推進
 - ☞ AI 技術を積極的に活用し、限られた経営資源（人・財）の中で持続可能な行政サービスを提供する。
- ▶ デジタルデバйд*対策の強化
 - ☞ 情報通信技術（ICT）*を使いこなせる人と苦手な人との間に生じる格差を是正するため、「デジタルに関するなんでも相談室」の開設など、誰一人取り残さない形で、デジタル化の恩恵を広く行き渡らせていく環境整備に取り組む。
- ▶ 行政運営の効率化と透明性の向上
- ▶ 市民とのコミュニケーションの強化
 - ☞ 市公式 LINE 等を通じた市民アンケートやパブリックコメントの実施により、市民ニーズへの迅速な対応につなげるほか、緊急時における迅速な情報伝達を実現する。

■ KPI(重要業績評価指標)

指標名

行政手続のオンライン申請可能手続数

実績（2019）

19 件



現状（2023）

77 件



目標（2028）

100 件以上

指標の説明

徳島県電子自治体情報システム、マイナポータル*等での申請可能件数
オンライン申請可能な手続が増加することで、窓口での手続時間や待ち時間解消などの効果が得られ、市民サービスの向上と業務効率化が図られることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

DX*時代にふさわしい市民サービスの実現に向け、目標値を設定
この目標達成により、住民の利便性向上、事務の効率化、コスト削減に寄与

重点テーマ5

公民連携の推進

■ 主要な施策

▶ 公共サービスの効率化と民間活用

☞ 民間活力を行政運営に導入し、公共サービスの効率化と質の向上を図る。

▶ 市民参加と地域貢献の促進

☞ 市民自身が地域のニーズに応じて運用できる「わがまち予算」制度を新設し、個性あるまちづくりを推進するとともに、若者が市政に参加できる取組を推進し、次世代のリーダー育成と地域活性化を図る。

■ KPI(重要業績評価指標)

指標名

民間提案制度による公民連携事業件数（累計）

実績（2019）

—



現状（2023）

—



目標（2028）

5 件以上

指標の説明

民間提案制度により連携した事業件数
民間提案制度により、民間事業者が持つ独自のアイデアやビジネスモデルを行政運営に導入することを目的に、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

提案募集の内容を公共施設中心からソフト事業へ拡張し、より多くのアイデア等を行政運営に導入することを目指し、目標値を設定
この目標達成により、公民連携の協働によるまちづくりの推進に寄与

関連する個別計画

● 阿南市「新行財政改革」推進プラン 2025▶2028

● 阿南市公共施設等総合管理計画

● 阿南市建物系公共施設個別施設計画

● 阿南市 DX 推進指針

ビジョン

イメージアップ及び知名度向上による
にぎわいのあるまちづくり

現状と課題

- 本市では、広報誌の発行や公式 LINE、公式 Facebook、公式 Instagram、YouTube チャンネルを開設しているほか、地元のケーブルテレビ会社の協力による情報発信や市役所庁舎に設置しているデジタルサイネージ*において、広く市民等へ行政情報等を発信していますが、情報量が膨大で多岐にわたるため、対象者が必要とする情報を効率的に伝えられる広報が求められています。
- 全国的にみて、本市の認知度は高いとは言えず、旅行先や移住先として選ばれにくい現状があります。関係人口*の拡大や移住・定住につなげるためには、本市の魅力ある地域資源や施策を積極的・継続的に PR していく必要があります。
- 本市で盛んに行われている「野球」を核としたスポーツツーリズム*を実施することで、交流人口*の拡大や関係人口*の創出拡大に取り組んでいます。野球による交流人口*の拡大・関係人口*の創出拡大に伴い、現状の球場数では事業実施が困難な状況となりつつあるため、野球を産業としたスポーツツーリズム*の取組を拡充し、交流人口*・関係人口*を増やしていくためには、その受け皿となる既存の野球場を良好な状態で整備しておく必要があります。

基本的な方向性

- 市民の郷土愛やシビックプライド*を醸成するため、それぞれの広報媒体の特性を生かした効果的な情報発信による「伝わる」広報を推進し、本市の多様な魅力をターゲットに合わせて発信する戦略的なシティプロモーションを展開することにより、本市の都市ブランドイメージの浸透を図りながら、認知度や魅力度を高め、交流人口*及び関係人口*の拡大並びに移住・定住の促進につなげます。
- 本市は室戸阿南海岸国定公園等の自然に恵まれ、若杉山辰砂採掘遺跡や阿波水軍などの由緒ある史跡と四国遍路のお接待文化が息づいており、また LED の世界的シェアを誇る地場企業があるなど、豊かな自然と文化、産業が調和したまちです。こうした本市の魅力を全国に向けて発信し、認知度を高める取組を推進します。
- 「野球のまち阿南」として、官民が一体となり、「野球」を産業資本と位置付けたスポーツツーリズム*を推進します。

重点テーマ・主要な施策・KPI(重要業績評価指標)

重点テーマ1 シビックプライド*につなげる情報発信の推進

■主要な施策

- ▶ 市民が「知りたい」と思える広報の推進
 - ☞ 様々な広報媒体による情報発信について、情報を受け取る市民が魅力的に感じる「伝わる」広報を実践する。
- ▶ トップセールスによる本市の魅力発信
 - ☞ 市長定例記者会見など報道機関への情報発信とともに、県外における各種イベントへの参加など市長自らが市の魅力発信を行う。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名	YouTube 阿南市公式チャンネルの登録者数		
	実績 (2019)	現状 (2023)	目標 (2028)
	300 人	1,030 人	1,500 人

指標の説明

YouTube 阿南市公式チャンネルに登録している人数
登録者数が増加することで、シティプロモーションにつながるだけでなく、市民の愛着度の形成につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

毎年度 90 人の増加を目指し、目標値を設定
この目標達成により、市民が「知りたい」と思える広報の推進に寄与

重点テーマ2 関係人口*の創出・移住につなげる情報発信の推進

■主要な施策

- ▶ 移住相談会等による情報発信の強化
 - ☞ 首都圏及び関西圏で開催される移住フェア・セミナー等に積極的に出展し、移住希望者の掘り起こしと効果的な移住相談・プロモーション活動を展開する。

KPI(重要業績評価指標)

指標名

SNS 等による情報発信を通じて移住相談につながった件数（年間）

実績（2019）

108 件



現状（2023）

116 件



目標（2028）

170 件

指標の説明

移住交流支援センターが移住相談を受けた件数（年間）

相談件数の増加が関係人口*の創出及び移住者の獲得につながることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

毎年度 10 件ずつ相談件数を上積みしていくことを目指し、目標値を設定

この目標達成により、本市の認知度や知名度が向上し、関係人口*の創出及び移住者の獲得に寄与

重点テーマ3

市外での本市の知名度アップと誘客の推進

主要な施策

▶観光プロモーションの強化

☞市外での観光 PR、SNS や動画配信などで、市の魅力を効果的に発信し、知名度アップと誘客につなげる。

▶イメージアップキャラクター「あななん」を活用した（グッズ販売含む）観光 PR の推進

▶特産品の磨上げや販路拡大（再掲）

▶民間等と連携した本市の魅力発信

☞阿南市観光協会などと連携・協力し、特産品や観光資源を効果的に PR する仕組みを構築する。

KPI(重要業績評価指標)

指標名

市外での物販及び観光 PR 日数（年間）

実績（2019）

20 日



現状（2023）

21 日



目標（2028）

25 日

指標の説明

市外で特産品の販売や観光 PR を行った日数（年間）

実際に現地におもむき特産品や観光 PR を行うことは、現地の方に直接本市の良さを知ってもらう機会となることから、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

特産品の販売や観光 PR を積極的に推進することとし、目標値を設定

この目標達成により、本市のファンを増やし、関係人口*の創出に寄与

重点テーマ4 「野球のまち阿南」としてのまちづくりの推進

■主要な施策

▶ 官民一体で行う「野球のまち阿南」のPR

☞ 「野球」を産業資本としたスポーツツーリズム*により、交流人口*の拡大や関係人口*の創出拡大を図る。

■KPI(重要業績評価指標)

指標名

野球による交流イベントへの参加延べ人数

実績（2019）

700 人



現状（2023）

1,000 人



目標（2028）

1,000 人

指標の説明

野球関係のイベントに参加した延べ人数

野球による知名度向上等を目指し、この指標を設定

設定の考え方/得られる効果

野球による交流人口*の拡大・関係人口*の創出拡大を目指し、目標値を設定

この目標達成により、交流人口*の拡大や関係人口*の創出拡大に寄与

